

## ジャマイカ政治・経済月間情勢（2022年12月）

### 【要旨】

内政では国民認証システム（NIDS）の試験プログラムが始まった。経済では、新紙幣導入が発表された。日・ジャマイカ関連では、ワクチン・コールドチェーン整備緊急無償資金供与式（ユニセフ連携）について報道された。

### 1 内政

#### （1） JCF に 25 台の新車両が追加される

ジャマイカ警察（JCF）は1億7千6百万ドル相当の新車両25台を獲得した。11月29日（火）、三菱L200ピックアップトラック15台、トヨタハイラックスピックアップトラック10台が、キングストンの警察長官オフィスにて引き渡された。（1日付広報局）

#### （2） ホルネス首相、犯罪撲滅のため、米国との「率直な」取引を求める

ジャマイカ政府は、米国からジャマイカに入り込んでいる犯罪者を特定し、起訴するための支援を米国に要請する予定である。ホルネス首相は、政府はこれらの犯罪者を認識しており、米国と共有する情報を収集していることを明らかにした。（11日付オブザーバー紙）

#### （3） 国民認証システム（NIDS）の全国展開が近づく

政府はNIDSの全国展開を間近に控えている。ホルネス首相は、12月13日（金）、キングストンのジャマイカ郵便局中央仕分け事務所にて、NIDSの正式な技術試験プログラムの開始を発表した。また同所に設置されたカードパーソナライゼーションセンターも開設された。政府は、ジャマイカ全土で身分証明書を発行するNIDSプログラムの展開を間近に控えている。首相自身の実際の国民IDが12月13日にジャマイカ郵便局中央仕分け事務所にて印刷された。これは国家として初めてのことであった。（15日付グリーナー紙等）

#### （4） サイバーセキュリティー局と教育機関の設立

フロイド・グリーン首相府無任所大臣は、デジタル変革の加速やサイバーセキュリティー侵害の増加に対処する能力を強化するために、政府はサイバーセキュリティー局や教育機関を設立する過程にあると述べた。政府はまた、サイバーセキュリティー教育機関の設立において、国際的なパートナーと協力する予定で、欧州連合（EU）が支援を提供する予定である。（13日付オブザーバー紙）

## 2 経済

### (1) 汚職が経済を阻害し続けていると PS0J

ジャマイカ民間セクター機関長官のキース・ダンカン氏は、汚職とその他の犯罪が依然としてこの国の弱点であり、マクロ経済の安定を達成したとしても、真の可能性を実現することを阻んでいると述べた。ジャマイカの経済における犯罪のコストは年間およそ1千億~2千億ドルと推定されている。(5日付グリーンナー紙)

### (2) 新紙幣関連

#### ア B0J、新紙幣の段階的な導入はなし

ジャマイカ中央銀行(B0J)は、2022年12月07日に掲載された新シリーズの銀行券の発行に関するオブザーバー紙の記事に不正確な内容が含まれていることを認識している。2022年12月に国内で新しいポリマー紙幣が段階的に導入されることはないので、注意が必要である。新紙幣は、新紙幣に対応したATMの改修が完了次第、国民に発行されるというナイジェル・クラーク財務大臣による前回の発言を改めて伝えている。この作業は3ヶ月から6ヶ月間続くと思われる。(7日付ジャマイカ中央銀行公式Twitter)

#### イ リチャード・バイルス B0J 総裁による新紙幣に関する記者会見

B0Jは、ジャマイカ紙幣の新シリーズを発表した。この新シリーズの紙幣は、2,000ドル札の導入を含む6種類の額面から構成されている。新シリーズの紙幣は、2023年に流通が開始される予定。(15日付ジャマイカ中央銀行プレスリリース)

### (3) JPS、再生可能エネルギーや技術向上に焦点を当てる

ジャマイカ電力公社(JPS)は2023年に事業体として100周年を迎える。同社は電気自動車(EV)の電力供給や技術向上、再生可能エネルギーに重きを置いている。政府は既に公共部門の車両の一部をEV化し始めているが、民間企業もEVの普及拡大に向け、積極的に準備を進めている。(12日付グリーンナー紙)

## 3 日・ジャマイカ関係

### (1) 日本が1200万米ドル相当のワクチン・コールドチェーン機材を供与

ア ジャマイカは日本から1200万米ドル相当のワクチン・コールドチェーン機材を受領した。(8日付広報局)

イ 日本政府は、ジャマイカのワクチンプログラム強化のため、冷蔵機能を備えたランドクルーザーやその他のコールドチェーン機材を供与した。(8日付ユニ

セフ・ジャマイカ・プレスリリース)

ウ ユニセフはこの資金を、ワクチン接種と予防接種プログラムを強化するための機器の調達とトレーニングに充当した。(8日付ユニセフ・ジャマイカ公式Twitter)

エ 来年、日本政府は、6,757リットルと4,286リットルの貯蔵能力を持つ40立方メートルのウォークイン式冷蔵室と冷凍室を合わせて寄贈し、国民健康基金(NHF)の本部に設置する予定。これにより、ワクチンの効力と品質を大幅に高め、ワクチンを迅速に展開し入手できる能力を向上させる予定。

(9日付グリーナー紙)

(2) 退任する日本大使を素晴らしい友人として称賛

退任する藤原聖也駐ジャマイカ大使は、コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックの最中、重要な支援を確実に行ったジャマイカの「素晴らしい友人」として称賛されている。先日、セント・アンドリュース県のナショナル・チェスト・ホスピタルで行われた日本政府からの医療機器の引き渡しの際、広報局ニュースのインタビューで、ジュリエット・カスバート・フリン保健・福祉国务大臣は、藤原大使は日本の支援を通じて、公衆衛生における国際協力の「典型例」を示してくれたと述べた。

(20日付広報局)

(3) 丸紅、ハートヒル住民にホリデーケアパッケージを届ける

ポートランドの400名を超えるハートヒル地域の住民は、12月初旬、丸紅電力インターナショナルからのケアパッケージの寄付を歓迎した。同社のモー・マジード社長は、丸紅にとってジャマイカの地域を支援することは大きな喜びであると述べた。過去15年間、丸紅インターナショナルはジャマイカでビジネスを展開し、

(パートナーとともに)ジャマイカでの電力システムの改善に12億米ドルを投資している。(22日付広報局)

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。